

時間の経過を眺めて気づいたことを 話し合おう！年表から（中学校～）

F-3

コロナ禍

【対象】 中・高校生、一般 など

【時間】 90分
学校なら2時間扱い程度

【会場】 教室 会議室 など

【参加者の持ち物】 筆記用具など

【準備】 キット 9-1 の P3～P6 9-2
9-4 9-6 9-7 9-8 9-9 9-10 9-11 9-12 9-13 9-15
などから実態に合わせて選んで使用

【講師】 不要
学校や生徒の状況をよく知っている教員がよいだろう。

【活動の流れ】

（1）導入として2020年当初の新聞をみる。

（9-2 9-4 9-6 9-7 9-8 9-9 9-10 9-11 9-12 キットの中から実態に合わせて使用）

- ① 新聞記事を見て当時に思い出す。
- ② 当時の学校の様子、家族が話していたこと、自分が思ったことなどを発表する。

（2）新聞博物館作成の年表を眺める。（キット 9-1 の P3～P6 9-15 9-2 9-12）

- ① 年表を読んで気になることを選ぶ。
- ② 当時の自分が思っていたことを発表したり話し合ったりする。

（3）当時と現在の自分の考えを比べる。

- ① 選んだことを他の新聞記事や Web サイトなどでも調べ、内容について自分で考えてみる。（キット 9-13）
当時に比べて現在はどうか感じているかを考える。
*最近の新聞記事など集めておき提示したり、ストックしてある新聞から各自で探したりできるとよいだろう。
- ② グループで意見交換（当時と比較して現在の状況を考える。）
調べたことをもとに、もう一度グループで話し合う。
当初と変わったことや感じ方の違い、社会の見解、などを話し合う。

（3）感想や意見を発表。

- ・口頭発表、掲示物など、状況に応じて選ぶとよい。
- ・発表後の意見感想の交換でさらに思考が深化する。

【その他】

- ・発表後に、学習支援システムを使って意見交換することもできる。
- ・廊下等に掲示して付箋で感想交換すると、他の教員や他の学年からの意見感想をもらうことができるので、広い視点で共有・深化できるだろう。
- ・小学校高学年でも発展課題としてできるだろう。